

羽咋高校 同窓会だより

Vol.
38
5月
2021

Hakui High School



杜の鐘

時をつなぐ悠久の音
羽ばたく未来へ

▶ contents

同窓会の決算・予算	2
新校長に梅本浩照氏	3
大学入試合格状況	3
各地の同窓会開催予定	4
創立100周年記念事業	4
100周年記念事業募金のお願い	5
御礼！協力金のご芳志	6・7
羽高魂！スポーツと文化活動の軌跡	8
グラフで見る学び舎の今	8



生徒の作品

生徒の作品

生徒の作品

創立100周年と

母校の未来へ

同窓会会長 轟 千栄子

新型コロナウイルスに翻弄された1年、生徒や先生方も経験のない試練の時を過ごし、今年の卒業式も、来賓は私とPTA会長だけの参列となりましたが196名の卒業生の旅立ちを杜の鐘の響きと共に精一杯の拍手で送りました。

昨年は各支部総会もほとんどが見送られ本部総会も規模を縮小し議案決議のみの会議とさせていただきました。現在のコロナウイルス流行の状況から本部総会は今年も同様に開催の予定です。どうぞご理解ください。

今年11年ぶりとなる同窓会名簿を発刊することができました。購入を希望された皆様には同窓会日より前後してお手元に届くことと思います。正確な情報の収集にご協力いただいた皆様方にあらかじめ感謝を申し上げます。

そして来年、いよいよ創立100周年を迎えます。母校は昨年から定員減で4クラス160名となり今年の合格者は定員に満たない厳しい状況です。今回の記念事業では旧同窓会館1階ホールをリニューアルし生徒が勉学に語らいに集う魅力的な場所とし、経済的な事情などで困難な状況の生徒を支援するための「てったい基金（仮称）」を創設します。同窓会が母校と生徒達をしっかりと支える羽咋高校であることを内外に示し、羽咋高校をめざす生徒が増える一助としたいと考えます。

この春樹齢100年とも言われる校庭のズカケノキが朽ちて危険となり伐採されました。旧制羽咋中学の1期生が昭和2年の卒業



記念に植樹したといわれ羽咋市役所の中庭が解体されるときに新校舎に移植されたものですがその存在はほとんど知られていませんでした。その他にもいわれのある樹木をはじめ校内には先輩方から寄贈された絵画などが多数展示されています。これらのものをつかりと後生に伝えるために「羽高歴史資産調査・保存事業」を新たに記念事業として加えることにしました。皆様から情報をいただけたことありがとうございます。

今年には毎年お願いしております運営協力金の募集にかわり記念事業への寄付をお願いすることにになります。同封しました趣意書に詳しく書いておりますが不明の点は創立100周年記念事業実行委員会までお問い合わせください。

記念式典や祝賀会等の開催に関しても新型コロナウイルスの流行の状況によりその内容も流動的です。なおそれらの費用については積み立ててあった基金で賄う予定にしております。

同窓生の皆様もそれぞれに困難な状況で過ごされていることと思います。そんな中ですが同窓会は明るい希望ある活動を続けたいと考えています。ご協力をよろしく願っています。

令和元年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 決算書

1 一般会計 (令和元年6月1日~令和2年5月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	増減(△)額 ②-①	摘要
1 前年度繰越金	7,391,135	7,391,135	0	
2 卒業生入会金	594,000	594,000	0	3,000円×198人
3 卒業生終身会費	3,960,000	3,960,000	0	20,000円×198人
4 運営協力金	6,000,000	5,418,115	△ 581,885	
5 基金会計利息	1,460	7,200	5,740	社債利息
6 雑収入	405	4,056	3,651	預金利息等
合計	17,947,000	17,374,506	△ 572,494	

支出の部

科目	予算額 ①	決算額 ②	増減(△)額 ②-①	摘要
1 本部総会関係費	700,000	483,827	△ 216,173	総会費
2 評議員関係費	130,000	145,460	15,460	役員会等
3 支部総会関係費	2,410,000	2,580,382	170,382	
4 同窓会日より費	2,600,000	345,400	△ 2,254,600	同窓会日より印刷費等
5 ホームページ関係費	150,000	123,233	△ 26,767	ホームページ管理費
6 教育振興費	1,000,000	105,020	△ 894,980	視聴覚室音響設備
7 慶弔費	200,000	35,000	△ 165,000	教職員転退職者餞別
8 事務局関係費	2,290,000	2,222,265	△ 67,735	
9 基金会計への繰出金	2,500,000	2,500,000	0	100周年事業への積立
10 予備費	5,967,000	20,000	△ 5,947,000	卒業30周年事業助成金
合計	17,947,000	8,560,587	△ 9,386,413	

収入 17,374,506円 支出 8,560,587円 差引残額(翌年度へ繰越) 8,813,919円

令和2年度 石川県立羽咋高等学校同窓会会計 予算書

1 一般会計 (令和2年6月1日~令和3年5月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額 ①	前年度予算額 ②	増減(△)額 ①-②	摘要
1 前年度繰越金	8,813,919	7,391,135	1,422,784	7,391,135
2 卒業生入会金	591,000	594,000	△ 3,000	594,000
3 卒業生終身会費	3,940,000	3,960,000	△ 20,000	3,960,000
4 運営協力金	6,000,000	6,000,000	0	5,418,115
5 基金会計利息	7,200	1,460	5,740	7,200
6 雑収入	4,881	405	4,476	4,056
合計	19,357,000	17,947,000	1,410,000	17,374,506

支出の部

科目	予算額 ①	前年度予算額 ②	増減(△)額 ①-②	摘要
1 本部総会関係費	50,000	700,000	△ 650,000	483,827
2 評議員関係費	30,000	130,000	△ 100,000	145,460
3 支部総会関係費	1,900,000	2,410,000	△ 510,000	2,580,382
4 同窓会日より費	2,300,000	2,600,000	△ 300,000	345,400
5 ホームページ関係費	150,000	150,000	0	123,233
6 教育振興費	1,000,000	1,000,000	0	105,020
7 慶弔費	200,000	200,000	0	35,000
8 事務局関係費	2,270,000	2,290,000	△ 20,000	2,222,265
9 基金会計への繰出金	2,000,000	2,500,000	△ 500,000	2,500,000
10 予備費(次年度への繰越金)	9,457,000	5,967,000	3,490,000	20,000
合計	19,357,000	17,947,000	1,410,000	8,560,587

「コロナ禍を乗り越えて」

校長 梅本 浩照

羽咋高校同窓会の皆様には、日頃より本校教育活動に對しまして、物心両面にわたりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。昨年度は、タブレット端末とプロジェクターを無線でつなぐ機器を整備させていただきました。これまででは有線で、タブレット端末の携帯性が損なわれていましたが、今では、生徒の意見を拾い上げたり、生徒の様子を間近で確認したりしながら、スクリーン表示を変えることができるようになりました。ここ3年間の整備により、授業等の際に不便と感じていたことが、随分と改善されました。どうもありがとうございます。ありがとうございました。

コロナ禍の中、令和2年度は高校においても忘れられない1年となりました。政府の突如の休業要請を受け始まった臨時休業は5月まで続き、様々な行事や活動が中止や延期となりました。実施する場合であっても、感染防止のため、難しい制約が加えられました。

6月の県高校総体は、全国高校総体の中止の決定を受け、中止となりました。高校最後の大会での活躍を目標に、練習に耐えてきた生徒には、本当に辛い決定となりました。

6月の修学旅行は11月に延期し、行き先を北海道から沖縄に、最終的には京都奈良に変更して行いました。生徒たちは、様々な経験を積むことで、リスクコミュニケーションや他人への思いやりの大切さを学びました。

1月には、大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストが行われました。感染被害が起きて、受験生に影響が出ないように、学校全体が緊張した時期でもありました。混乱の多かった今回の大学入試ですが、生徒一人



一人の頑張りにより、国公立大学92名の合格を含め、多くの生徒が希望する進学先へと駒を進めました。コロナ禍は続きますが、生徒の夢がしぼまないように、学校はいろんなことに立ち向かっていかなければなりません。

3月の卒業式は、昨年続き、「密」を防ぐために、卒業学年とその保護者だけで行われました。卒業生には寂しい思いをさせましたが、それでも、本校のシンボルである「杜の鐘」の音を記憶に刻み、希望を胸に学び舎を後にしました。

いよいよ来年には創立100周年を迎えます。記念事業の一つとして、旧同窓会館（図書棟）1階ホールの改修があります。新しい校舎の学校には、ホールと呼ばれる特別な空間があり、生徒の自由な発想や豊かな心を育むためには、欠かせないものとなっています。本校においても、それに代わるものがあればよいと考えました。改修を終えた新しいホールではちよっとした講義や授業、ミーティングにも使えますし、同窓会でも利用することもできます。古い校舎ではありませんが、魅力ある空間を作り出すことはできます。これから入学を目指す中学生にとっても、魅力ある学校であり続けるために、この記念事業の趣旨について、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

新校長に梅本浩照氏

梅本浩照（うめもと・ひろあき）校長 略歴
 昭和58年 羽咋高等学校卒業
 昭和62年 金沢大学教育学部卒業
 平成元年 金沢大学大学院教育学研究科修了
 平成元年 寺井高等学校 教諭
 平成7年 金沢二水高等学校 教諭
 平成19年 県教育センター研修課 指導主事
 平成24年 県教委学校指導課 指導主事
 平成25年 県教委学校指導課 主任指導主事
 平成28年 県教委学校指導課 課長補佐
 平成29年 金沢錦丘高等学校 教頭
 平成31年 金沢二水高等学校 副校長

事務局職員に鹿渡さん

同窓会本部のお世話をしていたいただいた南典子さん（高27回）が3月末で退職し、新たに鹿渡（かど）真砂さん（高27回）が4月1日付で就任しました。

【同窓会本部事務局】

営業時間 9:30～15:30（土日祝日・年末年始を除く）
 〒925-8550 羽咋市柳橋町柳橋 1
 電話：0767-22-1422
 FAX：0767-22-1422
 Eメール：info@uko-dosokai.net

*羽咋高等学校創立100周年記念事業実行委員会事務局も兼ねます。

■教職員人事異動（令和3年3月）

退職	校長	釜親 徹	
転出	教頭	北島 雅志	野々市明倫高教頭
	事務長	柳沢 博之	中能登教育事務所
	教諭	藤山 晋至	七尾高
	教諭	北村 正昭	金沢錦丘高
	教諭	山本 和宏	金沢桜丘高
	教諭	井藤 龍真	七尾高
	教諭	小林 弘輝	金沢二水高
	教諭	吉田 泰	金沢桜丘高
	教諭	松田 良平	金沢桜丘高
	学務員	田島 知幸	宝達高校
退職	教諭	山本 朗子	
転入	校長	梅本 浩照	金沢二水高 副校長
	教頭	中川久仁彦	金沢西高主幹教諭
	事務長	萩原 幸治	中能登農林総合事務所
	教諭	松田 翔子	鹿西高
	教諭	山本 美穂	金沢桜丘高
	教諭	羽部 大輔	鹿西高
	教諭	大井 智彦	輪島高
	教諭	山本 幸平	七尾高
	臨任	干場 麻美	
	臨任	山外百合恵	
	非常勤	高木 義雄	
	主事	大門 留美	新
	学務員	多田 秀人	新
	同窓会	鹿渡 真砂	新

■大学等合格状況（令和3年3月30日現在）

【国公立大学】		福井県立大	
北見工業大	1	都留文科大	3
弘前大	1	長野大	1
東北大	3	諏訪東京理科大	3
山形大	1	静岡県立大	1
宇都宮大	1	県立広島大	1
群馬大	1	福山市立大	2
電気通信大	1	熊本県立大	1
新潟大	1	国立大学合計	92
富山大	11	【私立大学】	
金沢大	12	法政大	1
福井大	3	金沢医大	5
信州大	1	金沢学院大	22
静岡大	1	金沢工大	63
京都教育大	1	金沢星稜大	46
鳥取大	1	北陸大	17
島根大	1	北陸学院大	8
広島大	1	金城大	5
高知大	1	京都産業大	6
琉球大	1	同志社大	5
秋田県立大	1	立命館大	8
会津大	1	龍谷大	2
前橋工科大	1	近畿大	8
高崎経大	2	その他	88
新潟県立大	2	私立大学合計	284
三条市立大	3	短期大学合計	
富山県立大	8	短大	9
石川県立看護大	5	専修学校計	43
石川県立大	4	就職	1
公立小松大	7	卒業生数	196

Hakui High School



石川県立羽咋高等学校 創立100周年記念事業

羽咋高等学校は「自主性の確立と文武両道の実践」を掲げ、県内有数の高等学校として歩んできました。私たちは、この校風を未来へと繋げるために、羽高生がさらに勉学や部活動に励み、これからの社会で必要とされる力を身に付け活躍してほしいという思いをこめて協議を重ねました。また、少子化が進む中でも多くの中学生が入学を目指す高等学校であり続けることを願い、以下の創立100周年記念事業を行うこととしました。

【記念マーク制作意図】

学び舎も移り変わり、全国に散らばっている卒業生ですが、共有しているのは折口信夫先生が作詞された校歌です。そして、二番の歌詞にある「杜の鐘」をシンボルとしてデザインすることで、次なる100年をめざし、未来への希望をのせ響く鐘の音をイメージしました。

■羽高の現在（いま）へ （教育環境の向上に資する）

同窓会館として現在の図書館棟が県に寄付されたのは今から50年前。3階建て建物が完成した昭和46年でした。そして、創立100周年を機に3階棟のうち、1階ホールを全面リニューアルいたします。

時代とともに放課後の自習、生徒自身による課題研究やプレゼンテーションなど、学びのスタイルは大きく変化しています。

しかし、母校ではそうした教育環境が十分とはいえない現状であり課題となっていることを受け、授業や自学自習、イベント、ミーティングなどに利用できる学びの空間整備に取り組みます。

また、同窓会、卒業生にも活用できるコミュニケーションスペースにしたいと考えています。

- ・旧同窓会館（図書館棟）の改修
- ・同窓会記念資料展示室（仮称）の設置



▲現在の一階ホール



▲一階ホール完成予想図

付記：銘板の作成

高額のご寄付をいただいた方のお名前を、「寄付者銘板」に記し、末永く顕彰させていただきます。

■羽高の歴史へ （百年を顧み、未来につなぐ）

羽咋高校の源流は、大正12年に設立された石川県立羽咋中学校と大正15年に設立された羽咋町立羽咋高等女学校に遡ります。そして戦後の学制改革を経て、現在の羽咋高校に至っています。

この100年の歴史をまとめ、未来へつなぐ『百年史』を刊行いたします。

また、学び舎にはベルリンオリンピックと縁のある「ドイツガシワの木」が生徒玄関前に聳えていたり、卒業生の活躍、功績、足跡を伝える資料、著作、美術作品などが数多くあります。

こうした100年の歩みを「羽高歴史資産」として、その価値を埋もれさせることなく後世に伝えるための調査を行います。

- ・母校の歴史を知る…『百年史』の刊行
- ・羽高歴史資産の調査・保存事業



▲ドイツガシワの木

■羽高の未来へ （生徒の夢を育む）

同窓生として、母校の生徒のみなさんが国公立大学や有名私立大学に進学されたり、部活動で好成绩を上げる姿を見ることは何にも代え難い喜びとなります。

新たな100年でも、母校が魅力あふれる学校であり続けるためには、今後も一層充実した教育環境の整備は欠かせません。

そのため「てったい基金」を設立することとなりました。特別な事情がある生徒への経済的支援や部活動にかかる費用の助成など、同窓会として必要となる支出のための基金を積み立て運営する準備をしています。

この基金は、100周年記念事業として皆様からのご寄附で創設し、2022年以降も継続して募金活動を行う予定です。

- ・てったい基金の創設



同窓会・今後の行事予定（4月1日現在）

令和3年

- 7月18日(日) 本部総会 すこやかセンター 13:00～
- 10月17日(土) 関西支部総会 大阪キャッスルホテル 11:30～
- 10月30日(土) 東海支部総会 ホテルルブラ王山 12:15～
- 11月14日(日) 関東同窓会総会 東海大学校友会館 霞ヶ関ビル35F 11:15～

令和4年

- 2月19日(土) 河北支部総会 河北亭 開始時間未定

*なお、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては本部および各支部総会の開催内容が変更される可能性もありますのでご了承ください。

100周年記念事業募金のお願い

創立100周年という節目に当たり4頁の記念事業を計画し、これらの事業実施のために皆様方からご寄付を募ることといたしました。つきましては、経済状況の厳しい時節ではありますが、本事業の趣旨にご賛同いただき、これまで築き上げられた伝統と歴史をより一層発展させる「新たな百年への飛躍」の出発点とするため、皆さま方のご芳志とご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

石川県立羽咋高等学校創立100周年記念事業実行委員会
実行委員長 轟 千栄子



特定寄付

募金目標額 2,350万円

■羽高の現在（いま）へ

1. 金額

一口 5,000円（幾口でも結構です）
寄附金の総額が目標金額を超えた後は、「一般寄附」に充当させていただきます。寄附の入金状況は高校ホームページ内の創立100周年記念特設ページで確認、または100周年記念事業実行委員会にお問い合わせください。

2. 期間

令和3年6月1日～令和4年5月31日
期間中であっても、目標額に達した場合は募集を停止します。

3. 払込方法

①ゆうちょ銀行による振込みの場合
同封の「特定寄附専用払込取扱票」を利用して、払込手続きを行ってください。この場合、払込手数料は100周年記念事業実行委員会が負担します。お取り扱い、ゆうちょ銀行のみとなります。

振込先

指定金融機関 ゆうちょ銀行
口座記号番号 00250-5-143454
口座名 羽咋高校100周年特定寄附

②インターネットによる払込の場合

羽咋高校ホームページ (<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/hakufh/>) のトップページのメニューから「100周年記念事業」を選んで、100周年記念特設ページを表示し、特定寄附の払込手続きを行ってください。クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニエンスストアでのお支払いが選択できます。

※付記1

税控除（税制優遇）について
「特定寄附」は、所得税、法人税、住民税において、所定の条件を満たすことで、税制優遇措置を受けることができます。この優遇措置を受けるためには、創立100周年記念事業実行委員会が発行した領収書（寄附金受領後発送）を添えて、確定申告する必要があります。領収書が届くまでは、お振込みの受領書（ゆうちょ銀行では、振替払込請求書兼受領書）は大切に保管してください。税務上の取り扱いは、（個人の場合）所得税法第78条第2項第1号により、「寄附金控除」の対象となります。特定寄附金から2,000円を差し引いた金額が所得から控除されます。ただし、特定寄附金の合計額は、所得金額の40%相当額が限度となります。（法人の場合）補遺人税法第37条第3項第1項により、特定寄附金の全額が損金に算入されます。

一般寄附

募金目標額 800万円

■羽高の歴史へ

1. 金額

一口 5,000円（幾口でも結構です）
寄附の入金状況は高校ホームページ内の創立100周年記念特設ページで確認、または100周年記念事業実行委員会にお問い合わせください。

2. 期間

令和3年6月1日～令和4年9月30日

3. 払込方法

①ゆうちょ銀行による振込みの場合
同封の「一般寄附専用払込取扱票」を利用して、払込手続きを行ってください。この場合、払込手数料は100周年記念事業実行委員会が負担します。お取扱いは、ゆうちょ銀行のみとなります。

指定金融機関 ゆうちょ銀行
口座記号番号 00270-2-108206
口座名 羽咋高校100周年一般寄附

■羽高の未来へ

②コンビニ決済による払込の場合

「募金趣旨書」に同封した「コンビニエンスストア払込票」を利用して、お近くのコンビニエンスストアで払込手続きを行ってください。この場合、払込手数料は100周年記念事業実行委員会が負担します。払込金額は一口分の5,000円に固定されます。

③インターネットによる払込の場合

羽咋高校ホームページ (<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/hakufh/>) のトップページのメニューから「100周年記念事業」を選んで、100周年記念特設ページを表示し、一般寄附の払込手続きを行ってください。クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニエンスストアでのお支払いが選択できます。

※付記2

- ・寄附には、「特定寄附」と「一般寄附」の2種類があります。
- ・「特定寄附」は、旧同窓会館（図書館棟）改修に係る経費で、完成後は石川県に寄附される事業として所得税控除（優遇税制）の対象となります。
- ・「一般寄附」は百年史刊行事業、羽高歴史資産の調査・保存事業、てったい基金創設事業を行うためのものです。
- ・それぞれ募集期間、振込口座、税務上の取り扱いなどが異なりますので、ご寄付いただく前に、ご希望に沿う募金内容をご確認のうえ、お取り扱いのないようお願いいたします。
- ・同封の振込用紙を使用されない場合やインターネットバンキングなどで振込をされる場合は、ご依頼人氏名の前に同封の振込用紙に記載された会員番号を必ず記載してください。寄付金受領証明書を送付するために会員番号が必要となります。



羽高魂

スポーツ・文化活動の軌跡

運動部

- 【野球部】
 - ☆石川県高等学校野球大会（令和2年度夏季）
 - 能登地区予選 羽 1-11 飯 田
 - ☆第143回北信越地区高等学校野球石川県大会
 - 1回戦 羽 8-4 金沢錦丘
 - 2回戦 羽 2-18 遊学館
 - ☆令和2年度石川県高等学校能登地区野球優秀選手
 - 能登地区予選 羽・前前 6-8 輪 島
 - 【陸上競技部】
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子ハンマー投 第2位 清水 貫汰（北信越新人出場）
 - 男子三段跳 第8位 吉本 洗希
 - 女子やり投 第2位 橋本帆乃花（北信越新人出場）
 - 女子円盤投 第5位 橋本帆乃花
 - 女子砲丸投 第7位 橋本帆乃花
 - ☆令和2年度北信越高等学校新人陸上競技大会
 - 男子ハンマー投 第3位 清水 貫汰
 - 女子やり投 第2位 橋本帆乃花
 - 【卓球部】
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子団体 3回戦 2-0 寺 井
 - 女子団体 第3位 1回戦 羽 3-1 金沢桜丘
 - 2回戦 羽 3-2 小 松
 - 3回戦 羽 3-1 水 戸
 - 準決勝 羽 2-3 遊学館
 - 順位決定戦 羽 0-3 航空石川
 - 【バスケットボール部（男子）】
 - ☆令和2年度石川県高等学校バスケットボール選手権大会
 - 1回戦 羽 86-70 能 登
 - 2回戦 羽 41-120 金沢泉丘
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 1回戦 羽 50-76 能 登
 - 【バスケットボール部（女子）】
 - ☆令和2年度石川県高等学校バスケットボール選手権大会
 - 1回戦 羽 47-34 小松市立
 - 2回戦 羽 6-170 津 幡
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 1回戦 羽 42-52 星 稜
 - 【バレーボール部（男子）】
 - ☆第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会石川県大会
 - 1回戦 羽 0-2 金沢錦丘
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 1回戦 羽 0-2 野々市明倫
 - 【バレーボール部（女子）】
 - ☆第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会石川県大会
 - 1回戦 羽 2-0 金沢西
 - 2回戦 羽 0-2 金沢学院
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 1回戦 羽 2-0 県立工業
 - 2回戦 羽 0-2 金沢商業
 - 【サッカー部】
 - ☆第99回全国高校サッカー選手権大会 石川県大会
 - 2回戦 羽 0-2 金沢伏見
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 予選リーグ敗退（3敗1分）
 - 予選リーグ敗退（3敗1分）
 - 4部Aグループ 5位
 - 【バドミントン部】
 - ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 1回戦 羽 3-0 小松明峰
 - 2回戦 羽 0-3 金沢市工
 - 1回戦 羽 3-0 翠 星
 - 【女子団体】
 - 1回戦 羽 3-0 翠 星

剣道部

- ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子団体 ベスト8（北信越新人出場）
 - 女子団体 準優勝（北信越新人出場）
 - 女子個人 ベスト8 松原 桜
 - 中越 優里
 - 野口 聖乃

弓道部

- ☆第42回石川県高等学校能登地区弓道大会
 - 男子団体 第3位
 - 女子団体 準優勝（Aチーム）
 - 第3位（Bチーム）
 - 男子個人 準優勝 岡本 悠生
 - 女子個人 準優勝 松永 慈愛

ソフトテニス部

- ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子団体 決勝トーナメント進出
 - 女子団体 決勝トーナメント進出
 - 女子個人 準優勝 松本 若葉
 - 第5位 星場 美奈（北信越新人出場）

相撲部

- ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子団体 1回戦敗退

空手道部

- ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 女子団体 1回戦敗退

少林寺拳法部

- ☆令和2年度石川県高等学校新人体育大会
 - 男子自由単独演武 優勝 松田 開意（全国選抜大会出場）
 - 男子自由単独演武 優2位 松田 開意

柔道部

- ☆令和2年度石川県高等学校夏季柔道大会
 - 男子団体 第3位 谷口 楓斗（60kg級）
 - 男子個人 第3位 清水 貫汰（73kg級）
- ☆令和2年度石川県高等学校新人大会
 - 男子団体 第3位 1回戦 羽 5-0 飯 田
 - 2回戦 羽 3-2 津 幡
 - 準決勝 羽 1-4 津 幡
 - 男子個人 第3位 清水 貫汰（81kg以下級）
 - ベスト8 宮本 齋

吹奏楽部

- ☆第55回石川県アンサンブルコンテスト口能登支部大会
 - 木管四重奏 銀賞
 - 金管八重奏 銀賞

文化部

- ☆第55回石川県アンサンブルコンテスト口能登支部大会
 - 木管四重奏 銀賞
 - 金管八重奏 銀賞
- ☆令和2年度全国高等学校軽音フェスティバル
 - 出場（新型コロナウイルスの影響により音源審査）
- ☆石川県高等学校文化連盟音楽専門部合同音楽会
 - 出場（新型コロナウイルスの影響によりネット配信）
- ☆第44回全国高等学校総合文化祭
 - 奨励賞（新型コロナウイルスの影響によりオンライン公開）
- ☆石川県高等学校文化連盟音楽専門部秋季軽音楽講習会
 - 出場（新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催）
- ☆第3回高等学校軽音楽コンテスト中部大会
 - 出場
- ☆第2回近畿北陸高等学校軽音楽コンテスト
 - 出場
- ☆第69回石川県高等学校「私達の主張」発表大会
 - 第2位 上野 菜湖（次年度全国総文出場）

グラフで見える学び舎の今

地方では過疎化・少子化により学校の統廃合が加速的に進み、交通インフラや地域経済にも多大な影響を与えています。令和元年9月、次年度公立高校の募集定員360人減の発表がありました。注目すべきは能登地区における変更です。

- 羽咋高校（普通科）
 - 200名から160名へ
- 七尾高校（普通科）
 - 200名から160名へ

進学校である2校同時の定員変更は近年無かっただけに、驚きをもって受け止められました。



▲昭和45年の新校舎風景。嬉しさの反面、学校前の道路は未舗装で前庭はなく、雨が降ると壁土でぬかるみ、靴が泥だらけになっていた頃。

石川県教育委員会は、令和2年も次年度募集定員120人減の発表を行い、公立高校は2年連続の減少となっています。

家政科を廃止し、普通科だけの高校として歩み出した昭和四十一年（1966）の生徒数は1350人。第2次ベビーブーム期の昭和40年代後半は生徒数急増期でもありました。その後の少子化の影響は母校においても現実のものとなっています。令和3年度の全校生徒数は492人となりました。

生徒数の減少は学校予算の減少につながります。それだけ学校施設や教育費用が減ることになります。こうした現状から、生徒募集状況の改善を目指す取り組みが急務です。また、同窓会の使命の一つとして、母校への教育環境整備や学力向上のための支援が今後ますます必要とされるものと推察できます。

